



「旭山冬のフェスティバル 2016」のようす

2016(平成 28)年2月11日(木・祝)、「旭山冬のフェスティバル 2016」が行われました。

今年は気温がプラスになる晴れた日、イベントには絶好の天気。

全部で 80 名ほどの参加者があり、盛り上がりました。

恒例の「イグルー作り」は今年も面白い形のイグルーができました。

終わると子どもたちはそり滑りなどで思いのままに遊んでいました。

「スノーシュー自然観察会」では、普段は見ることもない旭山川の沢を見に行きました。

旭山記念公園に向かう道路、門が迫ると右側に森が見えてきます。

その向こうはどうなっているかご存じですか？

実は深い沢で、高い所で 30m もの崖になっている場所もあります。

歩ける幅が狭い場所もあり、転落に注意しながら進みました。

沢に着くとなんと道路沿いの木にクマゲラが！

双眼鏡なしでも見えるくらいの近さでじっくりと観察できました。

途中も道から外れて歩き、木の冬芽などを観察しました。

「自然素材のクラフト」、作る人はみなさん夢中。

素晴らしい作品がたくさんでき、みんなで楽しめました。

そして午後から「餅つき」。

今回初めての試み、石臼と木の杵を借りてきて準備しました。

子どもたちは意外と餅つきに夢中、楽しい経験でした。

そしてお餅はみたらし、きな粉、あんこでおいしくいただきました。

今年も事故なく楽しく充実した 1 日を過ごすことができました。

参加されたみなさま、ありがとうございます。

「冬フェス」は来年もまた行います。



「スノーシュー自然観察会」3月12日(土)

「スノーシュー自然観察会」3回目の3月は、「木々の冬芽観察」をテーマに歩きます。

●3月12(土) 10時開始 参加費 100 円(保険代) ※スノーシュー貸出します(イベント参加者無料)。

鳥の巣とふきのとう発見！ 2月の「スノーシュー自然観察会」

2月20日(土)のスノーシュー自然観察会で見られたものふたつ。

・鳥の巣→

木にくくりつけられていました。

直径 8cm ほど。

メジロの巣と思われます。



・ふきのとう→

凍らない赤い池では

もう出ていました。



2016年2月の野鳥の動き

- クマゲラ:この冬も旭山記念公園内での目撃が多くなっています。
- ツグミ:2月下旬からほとんど見られなくなりましたが今はちらほらと。
例年通りであればこれから春が近づくとまた増えてきます。
- シメ:引き続き園内で「シリッ」「チッチッ」という声がよく聞かれます。
- ウソ:やはり園内で「フィッ」と鳴き声をよく聞きますが近くではあまり見られません。
- マヒワ:この冬は目撃が少なかったですが2月に入り見られるようになりました。
- キクイタダキ:今年は見る機会が多く、展望台の数本の松に良く来ます。
例年3月下旬がよく見られる時期なので、今年は多いと言えるでしょう。
園内の針葉樹をチェックして歩くととなくない頻度で見られます。
- エナガ:引き続き数羽の群れが日に何度か見られます。
- キバシリ:今年はここ10年で初めてというくらいに見る機会が少ないです。
- ヤマゲラ:「ピョピョピョ」という大きな声はまだよく聞かれます。
- アカゲラ:ドラミングを聞くことが多くなりました。
- コゲラ:まったく普通に園内にいます。
- カケス:2羽か3羽が引き続きよく見られます。



ゴジュウカラ↑



↑ホオジロ今年は3月中にやって来るか?

- 「カラ類」は囀りが盛んになってきました。
- ゴジュウカラ(右写真):「フィーフィー」 ●ハシブトガラ:「チヨチヨチヨ」 ●ヤマガラ:「チーリーツー」
- ヒガラ:「ツピーツツピーツ」 ●シジュウカラ:「ツーピーツーピー」

※早ければ3月下旬にホオジロ、モズ、キジバト、ヤマシギなど夏鳥第一陣がやって来ます。

しかし今年は寒さが平年並みに推移しており、それらが来るのは4月に入ってからかもしれません。

「生物多様性」 旭山では動物は何種類?

旭山記念公園における生物多様性の話の2回目、今回は旭山で記録された動物の種類について。

旭山で現在までに記録がある脊椎動物は何種類だと思いますか? (野良犬、野良猫は除く)

正解は136種。内訳は哺乳類15、鳥類110、爬虫類6、両生類3、魚類2、となっています。

中には外来種(アライグマ)、国内移入種(キテン、イタチ)などや、不確かな情報としてのヒグマ、確実な足跡の記録はあるものの生体を確認できていないエゾユキウサギも含まれています。

魚類が少ないのは域内に細い川が流れているだけだからですが、それでも魚類も確認されています。



脊椎動物は種数が少ないため把握できますが、昆虫は種の識別が難しく、まだデータを取り始めたところ。しかし姿が目につきやすい蝶の仲間だけはデータがあり、現在53種類が記録されています。

昆虫以外の節足動物や軟体動物等については、現段階では見当がつかないとしか言えません。

単純に数が多ければそれでいいというものでもないですが、それぞれの環境に適した生物が多く見られることは、生物環境の多様性につながっているといえるでしょう。

編集後記

雪が少ないまま春を迎えると思いきや、3月に入りまとまって雪が降りました。

昔から帳尻が合うとよく言いますが、今年はそうなったようですね。

旭山ではアカゲラのドラミングがよく聞かれるようになりました。

つがいで間を取りながら「コール&レスポンス」する姿は微笑ましい光景でもあります。



公式サイト

「アカゲラ通信」 第27号 2016(平成28)年3月5日発行

発行:(公財) 札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所

住所:〒064-0943 北海道札幌市中央区界川4丁目

連絡先:電話011-200-0311(土・日・祝日10時~16時) FAX011-200-0351

<http://www.sapporo-park.or.jp/asahiyama/>